

# 柿 特報 No.3

H30.6.3

J A 中野市営農センター

J A 中野市柿研究会

## 定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

果樹類全般で昨年よりも7日程度遅く、平年並みで生育しています。病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。今年は花芽のつきが悪い園地が散見されます。園地の状況をよく確認し、摘花摘果をしてください。

### 病害虫防除

#### ◎6月上中旬（6月16日頃まで）の薬剤散布

- 収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓあたり	散布日 6月 日 散布量 ℓ	
	展着剤	10mℓ		
	キノンドー顆粒水和剤	100mℓ		収穫 14 日前、5 回以内
	スミチオン水和剤 40	125g		収穫 45 日前、3 回以内
対象病害虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病 フジコナカイガラムシ、オオワタコナカイガラムシ、カキノヘタムシガ ドウガネブイブイ、(コガネムシ類)、カメムシ類、イラガ類			
散布量	10a 当り 500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。			

#### 《注意事項》

- スミチオン水和剤 40 の使用回数はガットサイド S と合わせて3回までです。  
カキノキマダラメイガ・ヒメコスカシバ対策で散布した場合はご注意ください。
- 他品目に飛散しないように注意してください。
- 弱樹勢樹（葉が小さい・色が薄い等）が見られる場合は担当技術員までご相談ください。

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう